

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
応用鍼灸実技Ⅳ	実習	2	前期	1	谷本 雅則

授業概要	東洋医学における検査の基礎となる四診実技を学習する。
到達目標	四診を理解し、自身で弁証が立てられる事を目標とする
成績評価	検査手順、方法による評価を行う。
実務経験	治療院やクリニックでの臨床経験や自身の治療院開業経験から基礎をふまえ応用ができるように指導

前期	講義内容
1	四診の概要を説明し一連の流れで行う。
2	脈診(六部定位)を行い六十九難に基づく配穴で治療を行う。
3	経絡テストを交え原穴診を行い原穴への刺鍼を行う。
4	背部俞穴の診察を行い虚(発汗・陥凹、軟弱)の部分に対し灸にて補法を行う。
5	腹診を行い特定穴(太衝・内関・足三里・太溪・膈俞)に刺鍼を行い変化を確認する。
6	舌診を行い虚実寒熱を理解し刺鍼を行う。
7	舌診を行い舌状から津液の状態、血の状態を候い刺鍼し変化をみる。
8	顔面診を行い生体物質の虚に対し刺鍼を行い変化を候う。
9	舌診と脈状診を基に病態を把握し刺鍼を行う。
10	原穴診と背候診を行い臓腑と経絡の関係を理解したうえで合穴にて治療する。
11	顔面診と腹診を行いその反応を基に刺鍼を行う。
12	望診と切診を一通りの流れで行い弁証を立てる。
13	四診を一連の流れで行い弁証を立て弁証に対し刺鍼を行う。(テスト対策)
14	四診を一連の流れで行い弁証を立て弁証に対し刺鍼を行う。(テスト対策)
15	期末試験
16	期末試験

使用教材	配布プリント
------	--------